

# 和歌を纏う

林優佳

デザインコース

和歌には、淡々と日々移ろいゆく季節の様子が、繊細に、美しく、いとおしく、人の心と共に描かれています。今を生きる私たちの季節にも、和歌が読まれたころときと変わらない移ろいがあります。それに触れて、感じて、いとおしく思えるように。そのために和歌を纏(まと)います。



袖ひちて むすびし水の こぼれるを  
春立つけふの 風やとくらむ

古今和歌集 第一 春歌上 2/紀貫之



川風の 涼しくもあるか うち寄する  
波とともにや 秋は立つらむ

古今和歌集 第四 秋歌上 170/紀貫之



濡れつつぞ しひて折りつる 年のう  
ちに 春はいくかも あらじと思へば

古今和歌集 第二 春歌下 130/在原業平

服飾デザイン／水引、布、不織布 ほか7点

## "晴々"を仕立てる

八島綾香

デザインコース

服を着て、自分の身体のラインが美しく見えると、気持ち前向きになる。そのような想いを"晴々"という言葉で表し、"晴々"を感じるTシャツの在り方を探りました。

従来のTシャツのシームラインや構造を見直し、着用した際に生まれるシワをコントロールすることで、女性の身体を美しく見せる形を目指しました。

袖ぐりのシームラインを女性の肩のラインに合わせることで、脇部分に集中するシワを軽減しました。

横腹のシームラインを胸から後方に向かって斜めにすることでウエストに自然なくびれが生まれ、さらにシワとシームラインが一体となって流れる、女性の上半身から下半身に向かって美しい身体のラインが見えてきました。



服飾デザイン / 天竺ニット生地(綿100%)、糸 / h650×w500mm

# 思い出とめぐる はままつ

徳田真奈美

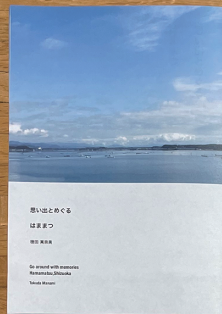
デザインコース

大学で、友人とお互いの地元についてよく話した。友人の思い出話を聞くことが、自分の地元”はままつ”について考える機会になっていた。

この経験をもとに、思い出話を集めた冊子をつくることで、読む人に自分の地元への郷愁を感じてもらおうと考えた。誰もが持っている、地元愛に訴えかけるものとして。

冊子の制作にあたり、浜松に住む、または住んでいた16人に、インタビューを行った。皆んな、思い出によって、はままつとの繋がりを持っていた。

話し言葉でまとめた冊子は、読む人に本の中から語りかけている。本の中のはままつの人々と会話をしてほしい。はままつを知るとともに、自分の地元に対して、思いを馳せてほしい。



コミュニケーションデザイン／冊子／A5版(52ページ)

# Paper shell body

紙を用いた人体造形

岩滝陸王

芸術文化科学研究科

三次元曲面を作れない紙は、可展面の組み合わせによって曲面に近似する。面と面の境界線を筋肉の境目に配することで人体らしい有機的で自然な形状を得られる。

樹脂製の骨格は可動のための関節を持ち、外皮である紙の殻が覆う。



立体造形／NTラシヤ、PLA樹脂／h1700×w670×d315mm

# 変身願望

奥川夏音

デザイン工芸コース

「変身願望」とは、今と全く異なるもの  
に変わりたい、自分とは別の身分や  
外見になりたいという欲求であり、  
内面と外面の両面に存在する。

普段見慣れた日用品が「変身願望」  
を抱いたら…こういった日用品の変身  
願望を具現化したものがこの作品群  
だ。そしてそれが質量のある現物や  
グラフィックとして目の前に置かれた  
時、イメージの混乱や再認識が引き  
起こされる装置となる。作品の中  
には、機能を失いアンバランスなもの  
もあるが、それも変身願望が生む人間  
味のある不均衡だと捉える。

この日用品の「変身願望」で既存概念  
が揺らいだことにより、感じ、考える  
ことは両方自由で価値がある。この  
作品を通して多角的な視点で物事  
を考えることを体験して欲しい。



プロダクトデザイン／変身願望モデル(一部)

# MIMICLOCK

得能真倫

デザイン工芸コース

私の部屋には5つの置時計があります。日常の行動に意識を向けると、それらを決まったタイミングでのみ必要としていることに気がつきました。集中の合間、就寝前や起床後、外出前など、ひとつの時計で時間を確認する状況は意外と限定的でした。それぞれの時計に役割と、それに合った居場所があるのです。この気づきを作品にしたのが、日常品に擬態した時計「MIMICLOCK」です。この作品が時計と人との関係を意識してもらえればと思います。



プロダクトデザイン／ヒバ、ヒノキ、スギ

## i rope

想像やひらめきが生まれるロープ

古田恵理奈

デザイン工芸コース

「想像」や「ひらめき」は、日常の生活で誰もが発揮している力であり、個人の経験や考え方、価値観が反映されて生まれるものである。しかし、それらが起こったことに気づいたり、憶えていたりする人は少ない。人間の成長に欠かせない重要な感覚にもかかわらず、日常の時間の中に埋もれ過ぎ去ってしまうことに疑問を感じ、「想像」や「ひらめき」に自分で気づくことができる道具を制作した。

『i rope』の“i”はimagination, inspire, imitate, impress…。この1本のロープで遊ぶ姿に、目の前で起きている多様な「想像」や「ひらめき」の瞬間に気づくはずだ。この作品を通じて、私たちの生活にあふれる「想像」や「ひらめき」を改めて感じるきっかけになってほしい。



プロダクトデザイン／ビニロン、段ボール、クラフト紙／h86×w470×d387mm

# Shopping bag

愛着が湧くレジ袋

南部琴音

デザイン情報コース

普段の生活の中で身近にあるものだが、レジ袋に関心を持って使用している人は少ない。

日常の中に寄り添い愛着が湧くレジ袋なら、捨てることにためらいが生じ、繰り返し使いたくなる。

レジ袋にペットボトルが入っていて自立している光景は当たり前で気にも留めていないものかもしれない。しかし、この袋が犬や猫の形になると、まるでこちらを見ているようで愛着が湧いてくる。

レジ袋に関心や愛着を持たせることで、昨今のポイ捨てによる環境問題も減らせるのではないかと考えた。



Shopping bag  
Shopping bag with attachment



プロダクトデザイン／レジ袋／h380×w380(他24点)